

■発掘調査速報！	
大塚古墳群と寺谷坂上14号墳	・・・ P1～2
■歴史文書館平常展 開催中	・・・ P3
■出前講座受付中！	・・・ P4
■コラム「古文書（こもんじょ）」橋川眞貴子	・・・ P4

発掘調査速報！

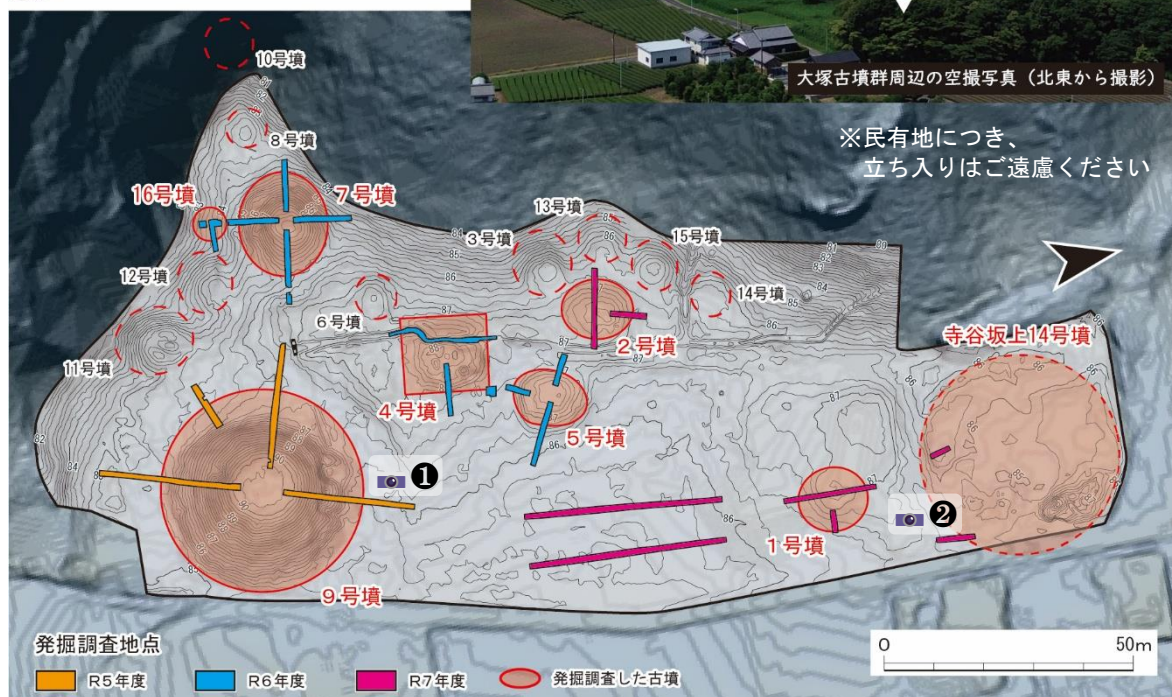
おおつか てらだにさかうえ 大塚古墳群と寺谷坂上14号墳



大塚古墳群
寺谷坂上14号墳



大塚古墳群周辺の空撮写真（北東から撮影）



大塚古墳群は、磐田原台地西縁に立地する古墳群で大小16基の円墳・方墳から構成されています。5世紀を中心に築造された古墳群ですが、現在も墳丘が良好に残存しており、当時の様相を今に伝える貴重な遺跡です。

磐田市では、大塚古墳群の保存を図るため、令和4～7年度にかけて地形測量や発掘を実施し、古墳の規模や築造時期などの基礎データについて収集を行いました。そして、令和8年度には調査成果をまとめた報告書の刊行を予定しています。

また、大塚古墳群に隣接して所在する**寺谷坂上14号墳**についても、令和7年度に発掘調査を行った結果、墳丘の一部を確認することができました。

今回は、これまでの調査で明らかになった大塚古墳群と寺谷坂上14号墳について、成果をご紹介します。

— 大塚古墳群 —

これまでに1・2・4・5・7・9・16号墳（計7基）の発掘調査を行いました。その中でも大塚古墳群で最大規模を誇る9号墳について、ご紹介します。

9号墳は直径約40m、高さ約6mの円墳で、墳丘頂上部や周溝内からは円筒埴輪や朝顔形埴輪が発見されました。埴輪の特徴から5世紀前半に築造された古墳であると考えられます。墳丘は周囲の土を盛り上げて造られ、黄褐色系の土と黒色系の土を綺麗に積み分けている様子が確認されました。葺石※は施していないようです。

埋葬施設については、保存のため今回の調査で発掘を行っていませんが、大塚古墳群の盟主で、かつて寺谷地域を治めていた首長が今も眠っていることでしょう。

※墳丘斜面を覆うように敷き詰められた石



9号墳の墳丘（1頁の図 ①）



9号墳から出土した円筒埴輪（高さ約48cm）

— 寺谷坂上14号墳 —

寺谷坂上14号墳は、昭和44年（1969）に圃場整備に伴い発掘調査が行われました。そのときの調査では、墳丘を整然と覆う葺石や土師器（高坏）が発見されています。

その後、墳丘の大部分は失われてしまったものの、令和7年度に実施した発掘調査の結果、現在でも墳丘の一部は地下に残されていることが判明しました。

5世紀中頃に築造された直径40～45m、2段築成の円墳であると考えられます。この古墳から埴輪は出土しませんでした。



墳丘模式図



↑ 寺谷坂上14号墳の墳丘（昭和44年調査）
↓ 令和7年度調査で見つかった葺石（②）



南側約100mに位置する大塚9号墳と同規模の古墳でありながら、埴輪や葺石の有無は対照的であり、外観は全く異なっています。

今回紹介した古墳以外からもさまざまな発見がありました。詳細は、報告書の刊行までお待ちください。

今月末
まで！

歴史文書館平常展 開催中

現在、歴史文書館では2つの展示会を開催中です。この機会に歴史文書館へ行ってみませんか？

「懐かしの小学校～昭和の終わり～」

&

「史料を遺す～古文書とデジタル化～」

◆ともに令和8年9月30日(水)まで

休館日：土曜・日曜・祝日

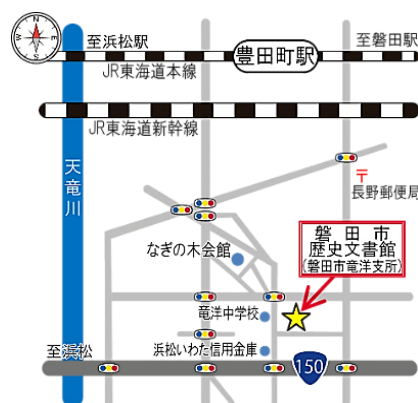
場所：歴史文書館

(磐田市岡 729-1 / 竜洋支所内)

開館時間：午前9時から午後5時

(入館は午後4時30分まで)

問合せ：歴史文書館 TEL:0538-66-9112



1階「懐かしの小学校～昭和の終わり～」

今年は、昭和元年（1926）から起算して満100年の節目の年です。

当館所蔵の資料を活用して、昭和40年代～昭和60年代の懐かしい小学校の風景や当時の広報紙を展示しています。学校行事や校舎の写真は、当時を知る方にとっては懐かしく、知らない方には新鮮に映ると思います。



豊浜小職員室（昭和53年）
排気管が伸びているストーブ
を使用して、やかんでお湯を
沸かしている様子は昭和を感じさせます。



広報いわた（昭和54年）

2階「史料を遺す～古文書とデジタル化～」



史料のデジタル化とは何か。なぜデジタル化を行う必要があるのか。当館でデジタル化してきた古文書と共に紹介しています。デジタル化したからこそ展示できる史料をぜひご覧ください。

←デジタル化し印刷した
「天竜川洪水絵図」
(文政年間)

展示の様子→



ちょっと知りたい近所のいわれ、もっと知りたい磐田の歴史

出前講座受付中！

文化財課では、郷土の歴史や風土を知っていただくため、団体を対象に出前講座を実施しています。

学校（クラスや学年）や、地域のシニアクラブ、学習グループなど団体でお申込みください。文化財課職員がご希望に沿った講座をおこないます。

また、団体での埋蔵文化財センター、旧見付学校、旧赤松家記念館の見学・解説のご相談も承っています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

＜講座対応時間＞ 平日の9時～17時

＜内容の一例＞

- ・住んでいる地域の歴史について聞いてみたい
- ・旧石器時代から時代順に磐田の歴史を教えてほしい
- ・遠江国分寺について現地で解説してほしい など

※日時・内容については、必ず文化財課にご相談ください。

個人的な依頼など条件が満たされない場合は、お断りする場合もございます。

申込み・問い合わせ  文化財課 TEL：0538 - 32 - 9699



講座の様子

職員リレー コラム

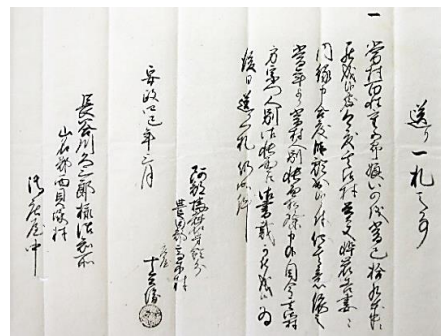
古文書（こもんじょ）

橋川 眞貴子

歴史文書館では、磐田市に関する歴史史料をお預かりし、私はそれらの史料の目録を作成しています。その中には古文書と呼ばれる、主に江戸時代以前に作成された文書があります。筆ですらすらと書かれた文字は簡単に読めるものではありません。書く人によって癖のある書き方であったり、本来の意味ではない音などを当てはめた当て字、例えば「六ヶ敷＝むずかしき」や「鳥渡＝ちょっと」などを使っていたりと解読には頭を悩まされます。

しかし、現代にビジネス文書の例文があるように、古文書にも証書の定型文があります。金銭の貸借・嫁入婿入の証書などです。読めない文字があっても同じ表題の古文書を見れば解る時があります。また、その時は解らなくても読み進めていくと同じ文字の解りやすいものに出会うこともあります。

庄屋を勤めていた家や、商売を営んでいた家などから預かる史料は膨大な量があります。そのお宅の歴史が目録として目に見える形で完成した時は、読めなくて悩まされたことなど忘れるほど達成感でいっぱいです。



送り一札之事

※嫁入のときに戸籍を
結婚先に送った書状

編集後記 担当した企画展が盛況のうち終了いたしました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。今後も磐田の歴史をたくさん発信していきます。

発行：磐田市スポーツ文化観光部
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。  磐田 文化財だより

検索